



震災の教訓から学ぶ講演会(入間川中学校)

11月10日(土)、全校生徒249人が、平成23年の東日本大震災で自らも被災した宮城県東松島市消防団の齋藤剣一広報部長から、震災当時の状況などについて話を聴き、命の大切さと災害時に何が出来るかを学びました。



講演では、市内の被災状況や市民の避難生活のようす、消防団としての活動などを、当時の映像を交えながら説明しました。そして最後に「震災時に強く感じたのは、今生きているのは家族のおかげということ。皆さんも今を大切に、そして一生懸命勉強して社会の役に立てるような大人になって欲しい」と力強く生徒たちに語りました。

生徒からは、「狭山で同じような災害が起こったとき、少しでも復興の手助けができるよう、自分に何が出来るのかを今から考えていきたい」などの感想がありました。

全国・関東大会の出場選手が市長に報告



11月7日(水)、中学校総合体育大会の全国大会と関東大会に出場した生徒たちが市長を表敬訪問しました。

出場報告の後、生徒から「今回の経験を生かして頑張りたい」「勝てなかったのは残念だった。次は結果を残したい」「練習に励み、入賞できるように努力したい」など感想や今後の抱負が語られました。市長からは「大会への出場は、皆さんの努力の結果です。これからも持てる力を発揮して、上位を目指して切磋琢磨してください。活躍を期待しています」と激励の言葉が贈られました。

全国大会

吉田康浩さん(柏原中学校3年・全国中学テニス選手権大会個人シングルスベスト16)

関東大会

嶋村南美さん(西中学校1年・新体操学校総合体育大会関東大会出場)

永山心結さん(西中学校2年・新体操学校総合体育大会関東大会出場)

火のよーじん! カンカン!

11月5日(月)/幼年消防クラブ防火パレード(水富幼稚園)



水富幼稚園の園児74人が、秋の火災予防週間にあわせて行った防火パレード。お揃いの法被を着て、元気な声で「火の用心」を地域に呼び掛けました。

地場産野菜とグルメを楽しむ

11月17日(土)/狭山市農業祭(市民会館ほか)

農産物の収穫を祝う農業祭。新鮮な野菜の販売や品評会のほか、さといも料理グランプリを同時開催し、大勢の来場者が狭山の野菜を堪能しました。



29年度さやま市民大学地域ジャーナル講座の修了生がお届けします さやま・レポート 狭山ステキ発見

富士山を望めることから、「富士見」とつく地名は、関東・中部地方に数多くあります。



市内にも富士にまつわる昔からの地名(小字)があります。堀兼神社の周りには「富士見里」「富士隠」「富士見台」「富士見丘」が、また、柏原には「富士塚」という地名が残っています。昔は、建物や林など遮るものが少なく、晴れた日には富士山もよく見えたことでしょう。今では、どこも建物が立ち並び、富士山が見える場所も少なくなってきましたが、例えば入間川に架かる新富士見橋や昭代橋、また、奥富小学校近くの田んぼなど、周囲が開けた場所から富士山を望むことができます。これからの季節は空気が澄み、雪化粧した富士山が見える日が多くなってきます。

中央図書館の蔵書「狭山から見える山々」には富士山の展望スポットが記されています。皆さんも探してみてくださいはいかがでしょうか。

問合せ広報課へ内線7161

市民の文化の祭典

10月~11月/市民文化祭(各会場)

芸術の秋に、公民館や市民会館など14会場で開催。公民館で活動しているサークルなどが、日頃の文化・芸術活動を発表しました。絵画や彫刻などの作品は、どれも見た人をうならせる力作揃い。洗練された演劇や民踊なども披露されました。会場では、発表者と来場者が作品について語り合うなど、文化を通じた市民同士の交流も深まりました。



奥富公民館(吊るし雑飾り)

▲江戸時代からの歴史を持つ吊るし雑飾り。丹精込めて作った作品を一室に集めると、壮観な光景に



中央公民館(作品展)



新狭山公民館(来場者と大合唱)



入曽公民館(人権標語表彰式)

ふたごの子育て、喜びも笑顔も2倍に!

11月11日(日)/ふたごちゃんあつまれ~!スペシャル!!(市民交流センター)

ふたごの親子16組と先輩ママ達の交流会。子ども達がパパや保育士と遊んでいる間、ママ達はふたごを育てる上での悩みや不安を話し合い、お互いにアドバイスをしながらリフレッシュしました。最後はママ達も一緒に踊りやゲームで楽しみました。



▲ふたごちゃん達は、広いホールで思い切り遊びました

▲本音をしゃべることで、スッキリしたようすのママ達



あなたが写っていませんか? 広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

川辺の魅力を再発見

11月11日(日)/さやまリバフェス@入間川(入間川河川敷)

入間川の河川敷を利用して、アウトドアやバードウォッチング、環境学習など自然を生かした体験型のイベントを開催し6千人もの人々が訪れました。会場では、幼児向けのキッズバイク教室も開かれるなど、幅広い年代が参加しました。

▼入間川のカヌー搭乗体験には、多くの参加者が



▲熱気球体験で上空から入間川を見ました

心と力を合わせ綱と勝利を手繰り寄せる

11月18日(日)/狭山市綱引大会(市民総合体育館)

力自慢の小学生・中学生・大人がそれぞれにチームを作り、優勝を目指しました。日頃の練習の成果を発揮すべく、掛け声で息を合わせ、力いっぱい綱を引き寄せていました。試合終了後は、ハイタッチを交わし、互いの健闘をたたえました。



勝利を願い、先生や保護者が力いっぱい声援を送ります